

II 要 旨

Ⅱ 要 旨

1 農林業経営体

(1) 農林業経営体数（統計表 p 78）

足利市内の農林業経営体数は726経営体で、前回に比べ233経営体減少した。
このうち、農業経営体数は720経営体で、林業経営体数は9経営体であった。

表 1 農林業経営体の推移

単位：経営体

区分	農林業 経営体	経営体	
		農業経営体	林業経営体
令和2年	726	720	9
平成27年	959	950	28
増減率(%) (令和2/平成27)	△24.3	△24.2	△67.9
構成比(%) (令和2/平成27)	100.0	99.2	1.2
平成27年	100.0	99.1	2.9

※農林業経営体数は、農業経営体と林業経営体の両方に該当する経営体があるため、内訳の計と一致しない。

2 農業経営体

(1) 組織形態別経営体数（統計表 p 79）

農業経営体を組織形態別にみると、法人化していない経営体が703経営体で、全体の97.6%を占める。

表2 組織形態別経営体の推移

単位：経営体

区分	農業 経営体数	法人化している				法人化 して いない
		小計	会社	農協	その他の 法人	
令和2年	720	17	14	1	2	703
平成27年	950	8	5	1	2	942
増減率(%) (令和2/平成27)	△24.2	112.5	180.0	0.0	0.0	△25.4
構成比(%)						
令和2年	100.0	2.4	1.9	0.1	0.3	97.6
平成27年	100.0	0.8	0.5	0.1	0.2	99.2

(2) 経営耕地面積規模別経営体数（統計表 p 80）

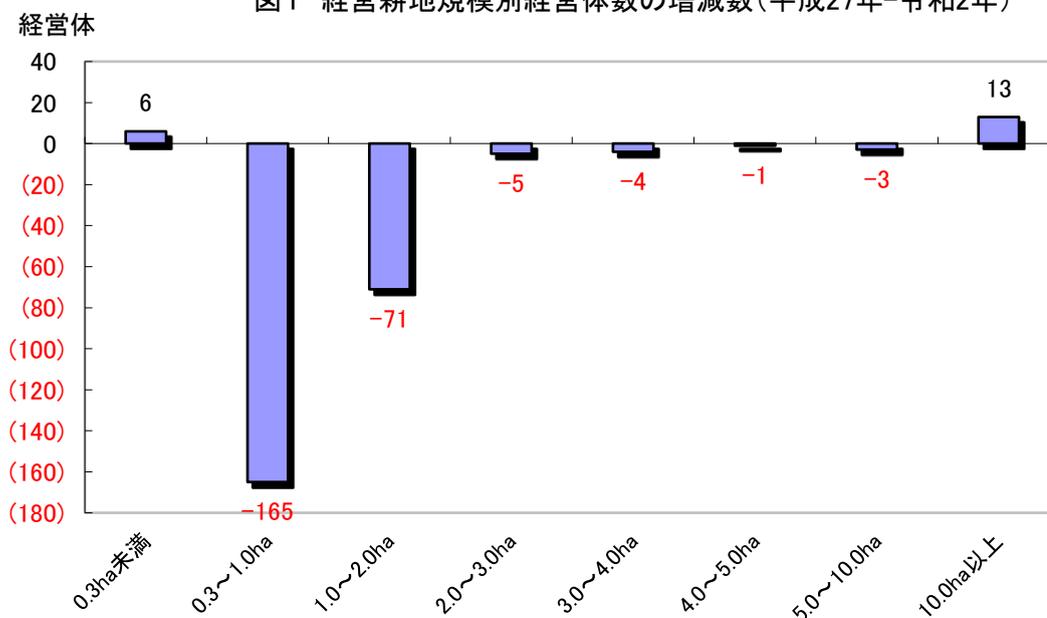
経営耕地面積規模別にみると、1.0haから10.0ha未満で減少し、0.3ha未満と10.0ha以上の層で増加した。

表 3 経営耕地面積規模別経営体数の推移

単位：経営体

区分	計	経営耕地なし	0.3ha未満	0.3 ～ 1.0	1.0 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 4.0	4.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0ha以上
令和2年	720	1	14	350	164	62	35	16	43	35
平成27年	950	1	8	515	235	67	39	17	46	22
増減率(%) (令和2/平成27)	△24.5	0.0	75.0	△32.0	△30.2	△7.5	△10.3	△5.9	△6.5	59.1
構成比(%)										
令和2年	100.0	0.1	1.9	48.6	22.8	8.6	4.9	2.2	6.0	4.9
平成27年	100.0	0.1	0.8	54.2	24.7	7.1	4.1	1.8	4.8	2.3

図1 経営耕地規模別経営体数の増減数(平成27年-令和2年)



(3) 農産物販売金額規模別経営体数（統計表 p38・p81）

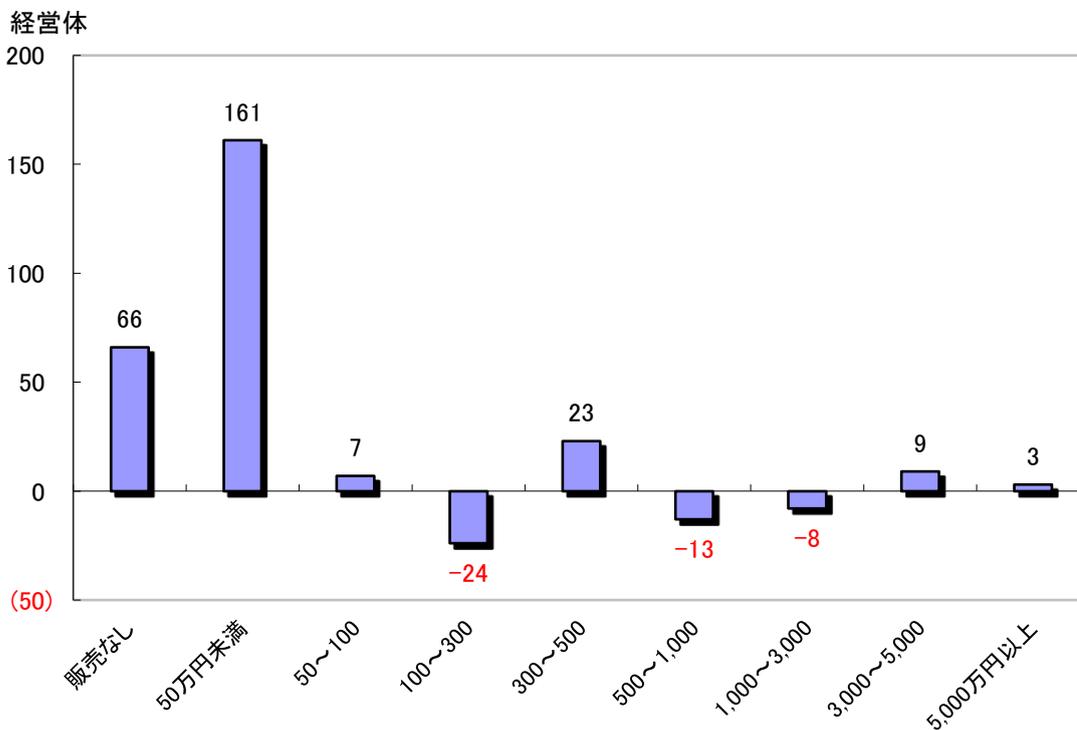
農産物販売金額規模別にみると、3,000万円未満の層で減少し、3,000万円以上の層で増加した。

表4 農産物販売金額規模別経営体数の推移

単位：経営体

区分	計	販売なし	50万円未満	50 ～ 100	100 ～ 300	300 ～ 500	500 ～ 1,000	1,000 ～ 3,000	3,000 ～ 5,000	5,000万円以上
令和2年	720	95	219	98	90	65	56	69	21	7
平成27年	950	161	380	91	114	42	69	77	12	4
増減率(%) (令和2/平成27)	△24.2	△41.0	△42.4	7.7	△21.1	54.8	△18.8	△10.4	75.0	75.0
構成比(%)										
令和2年	100.0	13.2	30.4	13.6	12.5	9.0	7.8	9.6	2.9	1.0
平成27年	100.0	16.9	40.0	9.6	12.0	4.4	7.3	8.1	1.3	0.4

図2 農産物販売金額規模別経営体数の増減数(平成27年-令和2年)



(4) 農業経営組織別経営体数（統計表 p39・p82）

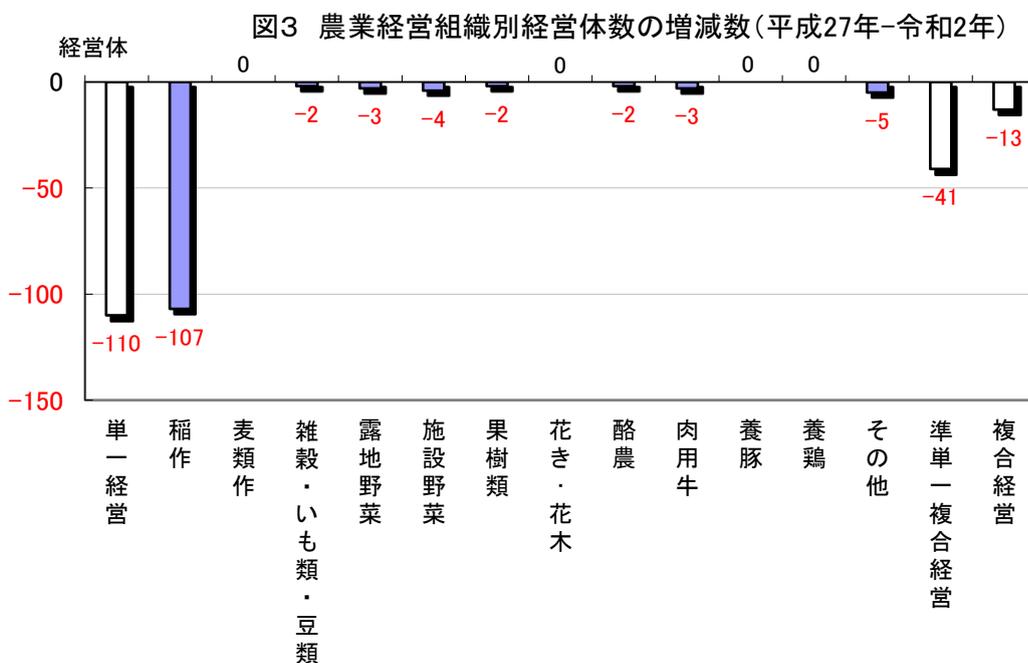
農業経営体のうち販売のあった経営体を農業経営組織別にみると、単一経営は455経営体、準単一複合経営は123経営体で、前回に比べ、それぞれ110経営体、41経営体減少した。また、構成比をみると単一経営が全体に占める割合は72.8%で前回に比べ1.2ポイント増加した。

表5 農業経営組織別経営体数の推移

単位：経営体

区分	販売のあった経営体数	単一経営							
		稲作	麦類作	雑穀・豆類	穀も類	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花木
令和2年	625	455	310	5	1	28	70	10	8
平成27年	789	565	417	5	3	31	74	8	8
増減率(%) (令和2/平成27)	△20.8	△19.5	△25.7	0.0	△66.7	△9.7	△5.4	25.0	0.0
構成比(%)									
令和2年	100.0	72.8	49.6	0.8	0.2	4.5	11.2	1.6	1.3
平成27年	100.0	71.6	52.9	0.6	0.4	3.9	9.4	1.0	1.0

区分	単一経営（つづき）							準単一複合経営	複合経営
	その他作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他畜	その他産		
令和2年	15	5	2	-	-	1	123	47	
平成27年	5	7	5	1	-	6	164	60	
増減率(%) (令和2/平成27)	200	△28.6	△60.0	-	-	△83.3	△25.0	△21.7	
構成比(%)									
令和2年	2.4	0.8	0.3	-	-	0.2	19.7	7.5	
平成27年	0.6	0.9	0.6	0.1	-	0.8	20.8	7.6	



(5) 借入耕地面積（統計表 p41・p84、p85）

借入耕地面積は92,602aで、前回に比べ11,948a増加した。

このうち、田は86,801aで、前回に比べ9,887a増加した。一方、畑は5,573a、樹園地は228aで、前回に比べ、畑は2,196a増加、樹園地は135a減少した。

表6 借入耕地面積の推移

単位：a

区分	借入耕地面積計	田	畑	樹園地
令和2年	92,602	86,801	5,573	228
平成27年	80,654	76,914	3,377	363
増減率(%) (令和2/平成27)	14.8	12.9	65.0	△37.2
構成比(%)				
平成22年	100.0	93.7	6.0	0.2
平成27年	100.0	95.4	4.2	0.5

(6) 貸付耕地面積（統計表 p42・p86）

貸付耕地面積は5,944aで、前回に比べ4,329a減少した。このうち、田は5,520aで前回に比べ148a減少し、畑は377aで前回に比べ4,228a減少した。

表7 貸付耕地面積の推移

単位：a

区分	貸付耕地面積計	田	畑	樹園地
令和2年	5,944	5,520	377	47
平成27年	10,273	5,668	4,605	-
増減率(%) (令和2/平成27)	△42.1	△2.6	△91.8	-
構成比(%)				
平成22年	100.0	92.9	6.3	-
平成27年	100.0	55.2	44.8	-

(7) 農業生産（統計表 p43～）

ア 販売目的の作物の類別作付（栽培）経営体数

販売目的で作付けした経営体は626経営体で、前回に比べ173経営体減少した。

このうち、稲を作付けした経営体は519経営体、麦類を作付けした経営体は155経営体、野菜類を作付けした経営体は201経営体で、前回に比べ、それぞれ203経営体、33経営体、71経営体減少した。

表8 販売目的の作物の類別作付（栽培）経営体数の推移

単位：経営体

区分	販売目的で作付けした実経営体数	稲	麦類	いも類	豆類	野菜類
令和2年	626	519	155	24	7	201
平成27年	799	722	188	58	15	272
増減率(%) (令和2/平成27)	△21.7	△28.1	△17.6	△58.6	△53.3	△26.1
構成比(%)						
令和2年	100.0	82.9	24.8	3.8	1.1	32.1
平成27年	100.0	90.4	23.5	7.3	1.9	34.0

※販売目的で作付けした実農家数は、類別作付け農家数でそれぞれ複数該当する販売農家があるため、内訳の計と一致しない。

イ 家畜を販売目的で飼養（出荷）している経営体数

家畜を販売目的で飼養している経営体で、乳用牛は6経営体、肉用牛は11経営体で、前回に比べ、それぞれ2経営体、5経営体減少した。

表9 家畜を販売目的で飼養している経営体数の推移

単位：経営体、頭

区分	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー
令和2年	6	11	1	-	1
平成27年	8	16	1	1	-
増減率(%) (令和2/平成27)	△25.0	△31.3	0.0	-	-
1戸あたりの飼養頭数					
令和2年	42.2	88.4	X	-	X
平成27年	42.8	X	X	X	-

(8) 作物の類別作付経営体数、作付面積（統計表 p 46～）

販売目的で作付けした作物の経営体数をもっとも多いのは「稲」の519経営体で、次いで「野菜類」の201経営体であった。

表10 販売目的の作物の類別作付（栽培）経営体数及び面積の推移

単位：経営体

区分	計		稲		麦類		雑穀	
	経営体	面積	経営体	面積	経営体	面積	経営体	面積
令和2年	626	206,927	519	74,631	155	72,076	3	118
平成27年	799	X	722	94,691	188	69,520	8	526
増減率(%) (令和2/平成27)	△21.7	…	△28.1	△21.2	△17.6	3.7	△62.5	△77.6

区分	いも類		豆類		野菜類		花き類・花木	
	経営体	面積	経営体	面積	経営体	面積	経営体	面積
令和2年	24	X	7	X	201	X	15	X
平成27年	58	X	15	X	272	X	15	X
増減率(%) (令和2/平成27)	△58.6	…	△53.3	…	△26.1	…	0.0	…

(9) 野菜の栽培経営体数（統計表 p 87）

販売目的で栽培した野菜の経営体数をもっとも多いのは「トマト」の62経営体で、次いで「いちご」の44経営体であった。

表11 販売目的で作付した野菜の経営体数の推移

単位：経営体

区分	だいこん	にんじん	さといも	はくさい	キャベツ	ほうれんそう
令和2年	30	22	32	12	22	17
平成27年	91	42	74	58	39	49
増減率(%) (令和2/平成27)	△67.0	△47.6	△56.8	△79.3	△43.6	△65.3

区分	ねぎ	たまねぎ	きゅうり	なす	トマト	いちご
令和2年	34	28	25	21	62	44
平成27年	72	44	64	55	85	59
増減率(%) (令和2/平成27)	△52.8	△36.4	△60.9	△61.8	△27.1	△25.4

(10) 果樹の栽培経営体数 (統計表 p 88)

販売目的で栽培した果樹の経営体数をもっとも多いのは「ぶどう」8経営体であった。

表12 販売目的の果樹類の栽培経営体数の推移

単位：経営体

区分	温州みかん 以外の かんきつ	ぶどう	かき	くり	うめ	すもも
令和2年	3	8	2	3	X	X
平成27年	8	7	6	8	2	4
増減率 (%) (令和2/平成27)	△62.5	14.3	△66.7	△62.5	-	-

(11) 水稲作の農作業を受託した経営体数（統計表 p 90）

水稲作の農作業を受託した経営体数をみると、全作業を受託した経営体が15経営体で前回に比べ2経営体増加し、部分作業を受託した経営体は41経営体で前回に比べ10経営体減少した。

表13 水稲作の農作業を受託した経営体数の推移

単位：経営体

区分	水稲作 全作業	水稲作 部分作業	(種 類 別)					
			育苗	耕起 ・代かき	田植	防除	稲刈り ・脱穀	乾燥 ・調整
令和2年	15	41	12	17	20	3	37	25
平成27年	13	51	10	20	24	2	41	32
増減率(%) (令和2/平成27)	15.4	△19.6	20.0	△15.0	△16.7	50.0	△9.8	△21.9

(12) 青色申告を行っている経営体数（統計表p93・p111）

青色申告を行っている農業経営体は282経営体で個人経営体での農業経営体で占める割合は37.1%となっている。正規の簿記を行っている農業経営体数は19%となった。

表14 青色申告を行っている経営体

単位:経営体

区分	計	青色申告を行っている				青色申告を行っていない
		小計	正規の簿記	簡易簿記	現金主義	
総数	720	282	152	113	17	438
個人経営体	700	267	137	113	17	433
団体経営体	20	15	15	-	-	5
構成比 (%)						
総数	100.0	39.2	21.1	15.7	2.4	60.8
個人経営体	100.0	37.1	19.0	15.7	2.4	60.1
団体経営体	100.0	2.1	2.1	-	-	0.7

(13) データを活用した農業を行っている経営体数（統計表 p93・112）

データを活用した農業を行っている農業経営体数は122経営体で、農業経営体に占める割合は16.9%となった。個人経営体についてみるとデータを活用した農業を行っている農業経営体は割合は14.7%となった。

表15 データを活用した農業を行っている経営体数

単位:経営体

区分	計	データを活用した農業を行っている				データを活用した農業を行っていない
		小計	データを 取得して 活用	データを 取得・ 記録して 活用	データを 取得・ 分析して 活用	
総数	720	122	52	48	22	598
個人経営体	700	106	45	44	17	594
団体経営体	20	16	7	4	5	4
構成比 (%)						
総数	100.0	16.9	7.2	6.7	3.1	83.1
個人経営体	100.0	14.7	6.3	6.1	2.4	82.5
団体経営体	100.0	2.2	1.0	0.6	0.7	0.6

(14) 有機農業への取組み（統計表 p94・p113）

有機農業に取り組んでいる農業経営体数は31経営体で総数に占める割合は4.3%となっている。作物別にみると野菜が2.1%、ついで水稲が1.8%となっている。

表16 有機農業に取り組んでいる経営体の取組品目別作付（栽培）経営体数

単位：経営体

区分	計	有機農業に取り組んでいる						有機農業に 取り組んで いない
		計	水 稲	大 豆	野 菜	果 樹	その他	
		作 付 (栽 培) 実経営体数	経営体数	経営体数	経営体数	経営体数	経営体数	
総数	720	31	13	1	15	5	3	689
個人経営体	700	27	11	1	14	4	2	673
団体経営体	20	4	2	-	1	1	1	16
構成比 (%)								
総数	100.0	4.3	1.8	0.1	2.1	0.7	0.4	95.7
個人経営体	100.0	3.8	1.5	0.1	1.9	0.6	0.3	93.5
団体経営体	100.0	0.6	0.3	-	0.1	0.1	0.1	2.2

3 農業経営体（個人経営体）

(1) 主副業別経営体数（統計表 p95）

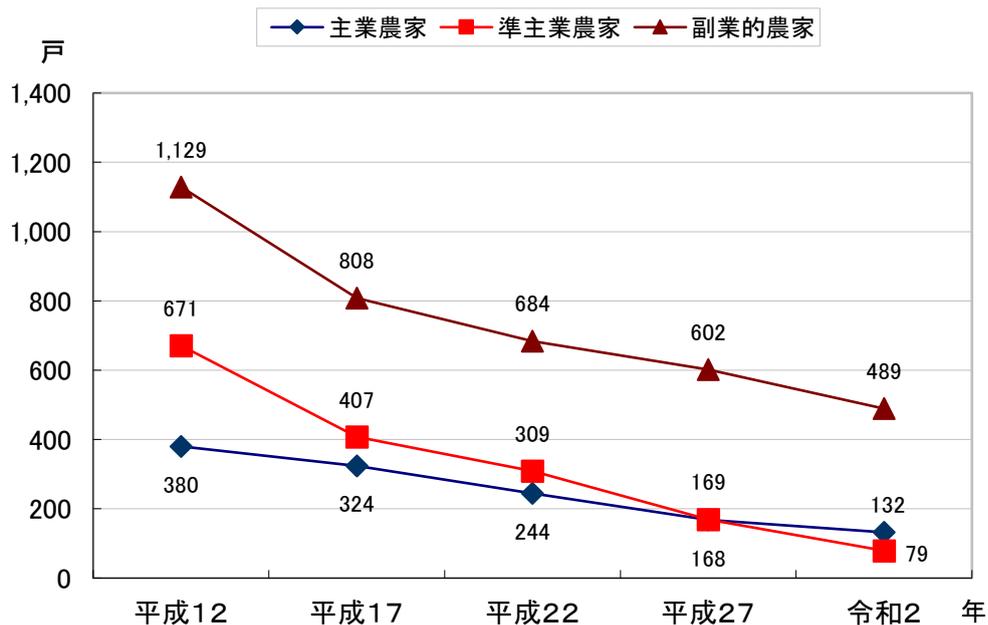
経営体を主副業別にみると、主業は132戸、準主業は79戸、副業的は489戸で、前回に比べ、それぞれ36戸、90戸、113戸減少した。

表17 主副業別個人経営体数の推移

単位：経営体

区分	経営体	主業		準主業		副業的
			65歳未満の農業専従者がいる		65歳未満の農業専従者がいる	
令和2年	700	132	116	79	16	489
平成27年	939	168	133	169	45	602
増減率(%) (令和2/平成27)	△25.5	△21.4	△12.8	△53.3	△64.4	△18.8
構成比(%)						
令和2年	100.0	18.9	16.6	11.3	2.3	69.9
平成27年	100.0	17.9	14.2	18.0	4.8	64.1

図5 主副業別経営体数の推移



(2) 世帯員数、農業従事者数、基幹的農業従事者（統計表 p 103～）

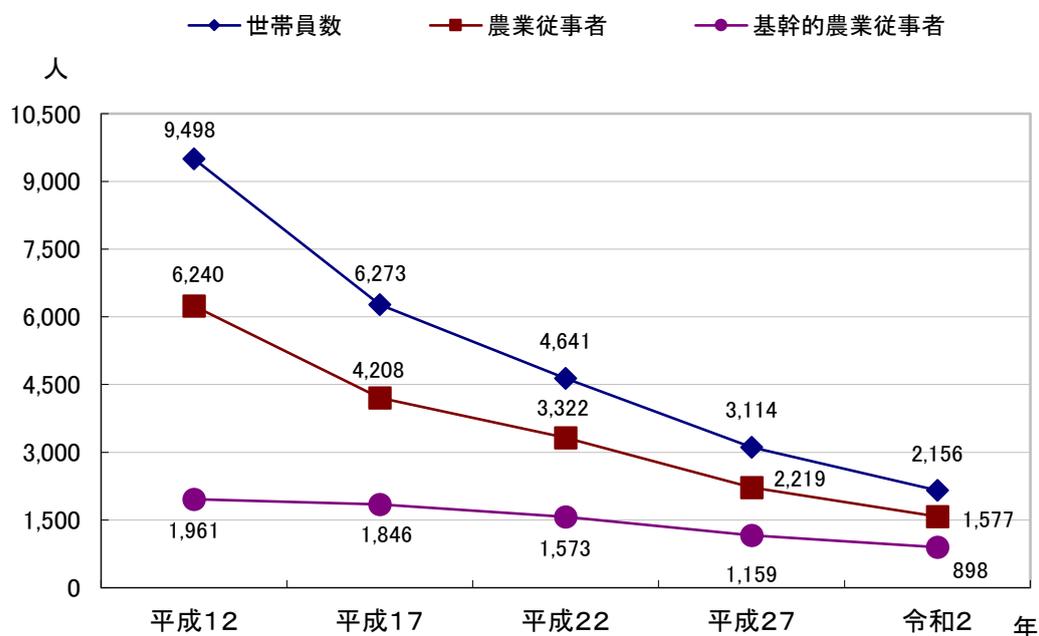
個人経営体の世帯員数は2,156人で前回に比べ958人減少した。このうち、農業従事者は1,577人、基幹的農業従事者は898人で、前回に比べ、それぞれ642人、261人減少した。

表18 世帯員数、農業従事者、基幹的農業従事者の推移

単位：人

区 分		世帯員数	農業従事者	基幹的農業従事者	
実数	男女計	令和2年	2,156	1,577	898
		平成27年	3,114	2,219	1,159
	男	令和2年	1,119	917	564
		平成27年	1,552	1,245	701
	女	令和2年	1,037	660	334
		平成27年	1,562	974	458
増減率(%) (令和2/平成27)	男女計	△30.8	△28.9	△22.5	
	男	△27.9	△26.3	△19.5	
	女	△33.6	△32.2	△27.1	

図6 経営体世帯員数、農業従事者、基幹的農業従事者の推移



(3) 耕地種類別経営耕地面積（統計表 p 100）

農業経営体の経営耕地面積は145,068aで前回に比べ11,822a減少した。これを耕地種類別にみると、田が135,959a、畑が8,283a、樹園地が826aで、前回に比べ、それぞれ6,788a、5,004a、30a減少した。

表19 耕地種類別経営耕地面積の推移

単位：経営体、a

区分	経営体数	経営耕地面積計	1戸当りの経営耕地面積	田		畑		樹園地	
				経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
令和2年	700	145,068	207.2	680	135,959	287	8,283	37	826
平成27年	939	156,890	167.1	927	142,747	567	13,287	39	856
増減率(%) (令和2/平成27)	△25.5	△7.5	24.0	△26.6	△4.8	△49.4	△37.7	△5.1	△3.5
構成比(%)									
令和2年	…	100.0	…	…	93.7	…	5.7	…	0.6
平成27年	…	100.0	…	…	91.0	…	8.5	…	0.5

(4) ハウス・ガラス室を利用した農業経営体数及び総面積（統計表 p 109）

農業経営体のうちハウス・ガラス室を利用した経営体数は129戸、総面積は3,205aで、前回に比べ、それぞれ30戸、625a減少した。

表20 施設園芸に利用したハウス・ガラス室の経営体数及び面積

単位：経営体、a

区分	経営体数	ハウス・ガラス室を利用した経営体数	ハウス・ガラス室の総面積	ハウス・ガラス室を利用した経営体数の割合(%)
令和2年	700	129	3,205	18.4
平成27年	939	159	3,830	16.9
増減率(%) (平成27/22)	△25.5	△18.9	△16.3	8.9

4 林業経営体

(1) 保有山林面積規模別経営体数 (統計表 p 75)

林業経営体を保有山林面積規模別の構成比で見ると、5ha未満層は1経営体（全体に占める割合11.1%）、5～10ha層はなし、10～30ha層は1経営体（同11.1%）、30～50ha層は3経営体（同33.3%）、50ha以上層は4経営体（同44.4%）となった。

表21 保有山林面積規模別経営体数

単位：経営体

区分	計	5ha 未満	5	10	30	50ha 以上
			～ 10	～ 30	～ 50	
令和2年	9	1	-	1	3	4
平成27年	28	5	7	9	2	5
構成比(%)						
令和2年	100.0	11.1	-	11.1	33.3	44.4
平成27年	100.0	17.9	25.0	32.1	7.1	17.9

(2) 林産物の販売金額規模別経営体数 (統計表 p 76)

林業経営体を林産物販売金額規模別の構成比で見ると、収入なし層が5経営体で、全体の55.6%を占める。

表22 林産物販売金額規模別経営体数

単位：経営体

区分	計	収入 なし	50万円 未満	50	100	200万円 以上
				～ 100	～ 200	
令和2年	9	5	3	-	-	1
平成27年	28	23	1	2	1	1
構成比(%)						
令和2年	100.0	55.6	33.3	-	-	11.1
平成27年	100.0	82.1	3.6	7.1	3.6	3.6

5 総農家

(1) 総農家、販売農家、自給的農家数（統計表 p114）

総農家数は1,530戸で、前回に比べ 457戸減少した。このうち、販売農家は697戸、自給的農家は833戸で、前回に比べ、それぞれ242戸、215戸減少した。

なお、総世帯に占める農家世帯の割合を示す農家率は2.5%となり、前回に比べ0.8ポイント低下した。

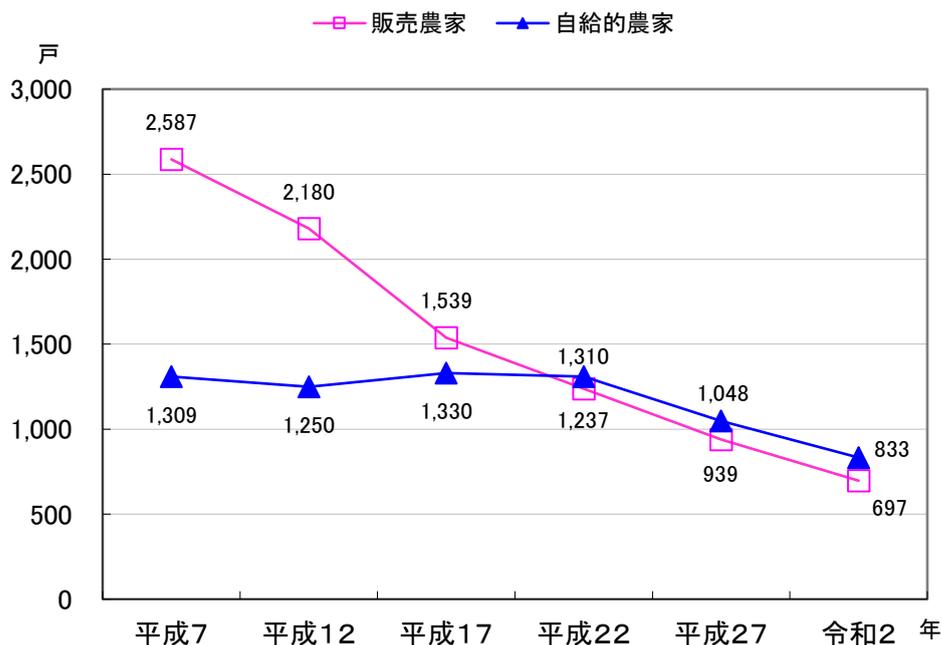
表23 農家数、販売農家数、自給的農家数

単位：戸

区分	農家数		総世帯数	農家率 (%)
	販売農家	自給的農家		
令和2年	1,530	697	61,617	2.5
平成27年	1,987	939	60,186	3.3
増減率 (%) (令和2/平成27)	△23.0	△25.8	2.4	0.8
構成比 (%)				
令和2年	100.0	45.6	-	-
平成27年	100.0	47.3	-	-

注：総世帯数は、各年の国勢調査結果による。

図7 農家数の推移



(2) 総農家の経営耕地面積（統計表 p 115・116）

総農家の経営耕地面積は161,318aで、前回に比べ14,373a減少した。農家1戸あたりの経営耕地面積は105.8aで、前回に比べ17.4a増加した。

表24 総農家の経営耕地面積

単位：a、戸

区分	総農家の 経営耕地面積		経営耕地の ある農家数	農家 1戸あたりの 経営耕地面積	
	販売農家	自給的農家			
令和2年	161,318	146,664	14,654	1,525	105.8
平成27年	175,691	156,890	18,801	1,987	88.4
増減率(%) (令和2/平成27)	△8.2	△6.5	△22.1	△23.3	19.7
構成比(%)					
令和2年	100.0	90.9	9.1	-	-
平成27年	100.0	89.3	10.7	-	-

6 旧市町村別農家数（統計表 p114）

旧市町村別総農家数は北郷村の160戸（全体に占める構成比10.5%）が最も多く、続いて富田村の156戸（同10.2%）、毛野村の138戸（同9.0%）の順になった。

一方、旧市町村別販売農家数は富田村の98戸（同14.1%）が最も多く、続いて久野村の87戸（同12.5%）、御厨町の75戸（同10.8%）の順になった。

表25 旧市町村別総農家数の推移

単位：戸

旧市町村別	総 農 家 数			増減率(%) (令和2/平成27)	構 成 比 (%)	
	平成22年	平成27年	令和2年		平成27年	令和2年
計	2,547	1,987	1,530	△23.0	100.0	100.0
足利市	58	39	30	△23.1	2.0	2.0
毛野村	238	195	138	△29.2	9.8	9.0
富田村	237	190	156	△17.9	9.6	10.2
北郷村	314	234	160	△31.6	11.8	10.5
名草村	181	131	102	△22.1	6.6	6.7
三重村	44	38	34	△10.5	1.9	2.2
山前村	90	80	63	△21.3	4.0	4.1
山辺町	120	95	75	△21.1	4.8	4.9
葉鹿町	64	46	33	△28.3	2.3	2.2
三和村	154	105	72	△31.4	5.3	4.7
小俣町	140	119	91	△23.5	6.0	5.9
御厨町	200	159	130	△18.2	8.0	8.5
梁田村	137	112	84	△25.0	5.6	5.5
久野村	208	167	134	△19.8	8.4	8.8
筑波村	204	157	127	△19.1	7.9	8.3
矢場川村	158	120	101	△15.8	6.0	6.6

表26 旧市町村別販売農家数の推移

単位：戸

旧市町村別	販 売 農 家 数			増減率(%) (令和2年/平成27)	構 成 比 (%)	
	平成22年	平成27年	令和2年		平成27年	令和2年
計	1,237	939	697	△25.8	100.0	100.0
足利市	18	10	10	0.0	1.1	1.4
毛野村	120	91	65	△28.6	9.7	9.3
富田村	162	125	98	△21.6	13.3	14.1
北郷村	128	106	74	△30.2	11.3	10.6
名草村	69	39	26	△33.3	4.2	3.7
三重村	8	6	5	△16.7	0.6	0.7
山前村	19	11	7	△36.4	1.2	1.0
山辺町	63	45	35	△22.2	4.8	5.0
葉鹿町	4	3	3	0.0	0.3	0.4
三和村	38	30	20	△33.3	3.2	2.9
小俣町	42	36	28	△22.2	3.8	4.0
御厨町	118	96	75	△21.9	10.2	10.8
梁田村	89	68	50	△26.5	7.2	7.2
久野村	143	118	87	△26.3	12.6	12.5
筑波村	128	97	69	△28.9	10.3	9.9
矢場川村	88	58	45	△22.4	6.2	6.5